

5分で読める! 理解する!
あらすじで学ぶ家づくり

Vol.12

災害から家族と財産を守る

構造・基礎

家づくりワンポイント・アドバイス

住まいづくりは
家族の幸せが基本。
安心・安全の住まいづくり
を実現したいのですが…

それならハウスメーカー
に相談しよう!

それなら経験豊富な住宅メーカーに依頼する事をお薦めします。全国各地での地震や台風、災害に強い住まいづくりの実績や経験、データ等も豊富です。もちろんアフターサービス体制も万全です。

A

各メーカーによって構造は様々です。ここでは、代表的な構造を簡単に説明しておきます。



→ 木造軸組工法

在来工法とも呼ばれます。木材の土台・柱・梁などの軸材で骨組みを構成。また柱や梁などで支える工法であるため、増改築にも対応しやすい。

→ 木質パネル工法

木造軸組工法に、耐力壁としてのパネルを組み合わせてつくる工法です。自由度を生かしながら、高い気密性の住まいも実現できます。

→ 軽量鉄骨工法

軽量鉄骨で軸組を構成し、それにメーカーオリジナルのパネルを組み合わせた工法です。鉄骨系プレハブ住宅の代表的な工法です。

→ 軽量鉄骨ユニット工法

各部屋をユニット(箱)単位で工場生産し、これを現場で組み立てる工法です。住まいの大半を工場で作るため工期が短いのが特長です。

→ 鉄骨軸組ALC工法

鉄骨で軸組を構成し、それに軽量気泡コンクリート(通称ALC)パネルを組み合わせたコンクリート工法です。都市型プレハブ住宅に用いられます。

近年、地震や台風などの災害が日本全国で多発しており、多数の犠牲者が出る場合もあります。もともと、日本という国全体が活断層の上に乗っているようなもので、どこでも地震が起きる可能性を常にはらんでいることが、地震大国と言われる所以です。

もちろん、岡山でも被害が発生する可能性があります。最近の世論調査でも防災に対する「地震への関心が高くなった」と答えた人の比率が上昇しています。これは、大きな年齢差、地域差はなく、全国的な関心の高まりがうかがわれます。

こうした意見を反映し、住宅会社では耐震商品や装置の開発が行われています。内容は各社様々ですが、どれも優れた耐震・免震・制震技術が採用されています。

そして何より、信頼できる住宅会社を見極めること、あなた自身が住まいづくりに積極的に参加することが重要です。解らないところ、疑問に思うところはひとつひとつ解決してから、次の段階に進みましょう。

① 「構造」のチェックポイント

ひとくちに構造といっても、現代の住宅の構造は様々です。大きく分けると一般的な木造住宅か、鉄骨構造ということになります。どちらがいいのかは人それぞれになりますが、出展メーカー各社の住宅は長年の経験と実績も数多く、信頼できる安心・安全の住まいです。

② 「地盤・基礎」のチェックポイント

建て替えをするときなど、そこに旧家屋が建てていたからといって、地盤が大丈夫とは限りません。むしろ、そこに長い間家が建っていたことで、地盤が軟弱になっているケースもあるのです。とくに岡山市内は比較的地盤の弱いところが多く、多少のコストをかけても、信頼できる会社で地盤調査を行い、担当者からきちんと現場で説明を受けておくことが必要です。

出展メーカー各社では自社で、ある程度の基準を設け、地盤調査から住まいづくりのすべてをトータルにサポートしているので、安心して任せることができます。新しく土地を購入する場合も、各モデルハウスでは、安心してマイホームを建築していただける物件をご案内しています。ぜひ、ご相談ください。